

第38回 定時株主総会 招集ご通知

開催
日時

2020年5月20日（水曜日）
午前10時（受付開始：午前9時）

開催
場所

愛知県刈谷市若松町二丁目104番地
刈谷市総合文化センター
アイリス 大ホール

目次

招集ご通知・・・・・・・・・・	1
株主総会参考書類・・・・・・・・	4
提供書面	
事業報告・・・・・・・・・・	15
連結計算書類・・・・・・・・	25
計算書類・・・・・・・・・・	28
監査報告書・・・・・・・・・・	31

証券コード 7649

2020年5月1日

株主の皆様へ

愛知県安城市三河安城町一丁目8番地4

スギホールディングス株式会社

代表取締役会長 杉 浦 広 一

第38回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第38回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

なお、当日ご出席願えない場合は、書面またはインターネット等によって議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の「株主総会参考書類」をご検討のうえ、後述いたしますご案内の方法により2020年5月19日（火曜日）午後6時までに議決権をご行使くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

記

- | | | |
|---------|-----------|--|
| 1. 日 | 時 | 2020年5月20日（水曜日）午前10時（受付開始：午前9時） |
| 2. 場 | 所 | 愛知県刈谷市若松町二丁目104番地 刈谷市総合文化センターアイリス 大ホール |
| 3. 目的事項 | | |
| 報告事項 | | 1. 第38期（2019年3月1日から2020年2月29日まで）事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第38期（2019年3月1日から2020年2月29日まで）計算書類報告の件 |
| 決議事項 | | |
| 第1号議案 | 取締役7名選任の件 | （4頁から11頁まで） |
| 第2号議案 | 監査役2名選任の件 | （12頁から14頁まで） |

以 上

- ~~~~~
- ・ 当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。また、議事資料として「本ご通知」をご持参くださいますようお願い申し上げます。
 - ・ 事業報告の「会社の体制および方針」ならびに連結注記表および個別注記表につきましては、法令および当社定款第18条の規定に基づき、「本ご通知」への記載に代えて、インターネット上の当社ウェブサイト（<https://www.sugi-hd.co.jp/>）に掲載しております。
 - ・ 株主総会参考書類ならびに事業報告、連結計算書類および計算書類に修正が生じた場合は、インターネット上の当社ウェブサイト（<https://www.sugi-hd.co.jp/>）に掲載させていただきます。



議決権行使についてのご案内

株主総会における議決権は、株主の皆さまの大切な権利です。
後記の株主総会参考書類をご検討のうえ、議決権を行使していただきますようお願い申し上げます。
議決権を行使する方法は、以下の3つの方法がございます。



株主総会に ご出席される場合

同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出ください。

日 時

2020年5月20日（水曜日）
午前10時（受付開始：午前9時）



書面（郵送）で議決権を 行使される場合

同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示のうえ、切手を貼らずにご投函ください。

行使期限

2020年5月19日（火曜日）
午後6時到着分まで



インターネットで議決権を 行使される場合

次ページの案内に従って、議案の賛否をご入力ください。

行使期限

2020年5月19日（火曜日）
午後6時入力完了分まで

議決権行使書用紙のご記入方法のご案内

議決権行使書
〇〇〇〇〇〇〇 御中
株主総会日 議決権の数 XX 股

××××年×月×日

1. _____
2. _____

ログイン用QRコード
ログインID XXXX-XXXX-XXXX-XXX
パスワード XXXXXX

〇〇〇〇〇〇

→こちらに議案の賛否をご記入ください。

第1号議案

- 全員賛成の場合 >> 「賛」の欄に○印
- 全員反対する場合 >> 「否」の欄に○印
- 一部の候補者に反対する場合 >> 「賛」の欄に○印をし、反対する候補者の番号をご記入ください。

第2号議案

- 賛成の場合 >> 「賛」の欄に○印
- 反対する場合 >> 「否」の欄に○印
- 一部の候補者に反対する場合 >> 「賛」の欄に○印をし、反対する候補者の番号をご記入ください。

※議決権行使書はイメージです。

書面（郵送）およびインターネット等の両方で議決権行使をされた場合は、インターネット等による議決権行使を有効な議決権行使としてお取り扱いいたします。また、インターネット等により複数回、議決権行使をされた場合は、最後に行われたものを有効な議決権行使としてお取り扱いいたします。

インターネット等による議決権行使のご案内

QRコードを読み取る方法

議決権行使書用紙に記載のログインID、仮パスワードを入力することなく、議決権行使サイトにログインすることができます。

- 1 議決権行使書用紙に記載のQRコードを読み取ってください。



※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

- 2 以降は画面の案内に従って賛否をご入力ください。

QRコードを用いたログインは1回に限り可能です。

再行使する場合、もしくはQRコードを用いずに議決権を行使する場合は、右の「ログインID・仮パスワードを入力する方法」をご確認ください。

ログインID・仮パスワードを入力する方法

議決権行使ウェブサイト <https://evote.tr.mufig.jp/>

- 1 議決権行使ウェブサイトアクセスしてください。
- 2 議決権行使書用紙に記載された「ログインID・仮パスワード」を入力しクリックしてください。

「ログインID・仮パスワード」を入力
「ログイン」をクリック

- 3 新しいパスワードを登録する。

「新しいパスワード」を入力
「送信」をクリック

- 4 以降は画面の案内に従って賛否をご入力ください。

※操作画面はイメージです。

インターネットによる議決権行使で
パソコンやスマートフォン、携帯電話の操作方法などが
ご不明な場合は、右記にお問い合わせください。

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ヘルプデスク

0120-173-027

(通話料無料／受付時間 9:00～21:00)

機関投資家の皆様は、株式会社ICJの運営する機関投資家向け議決権電子行使プラットフォームをご利用いただくことが可能です。

第1号議案

取締役7名選任の件

取締役6名全員は、本総会終結の時をもって任期満了となります。つきましては、取締役7名の選任をお願いするものであります。また、取締役松村啓史氏は、2019年11月11日に逝去されたため、同日付で取締役を退任しております。

取締役候補者は、次のとおりであります。

候補者 番号	氏 名	現在の当社における地位等	当事業年度の 取締役会への 出席状況	候補者属性
1	すぎうらひろかず 杉浦 広一	代表取締役会長	100% (13/13回)	再 任
2	さかきばらえいいち 榊原 栄一	代表取締役社長	100% (13/13回)	再 任
3	すぎうらかつのり 杉浦 克典	代表取締役副社長	100% (13/13回)	再 任
4	すぎうらしんや 杉浦 伸哉	取締役	100% (13/13回)	再 任
5	かみのしげゆき 神野 重行	取締役	100% (13/13回)	再 任 社外 独立
6	はやまよしこ 葉山 良子	取締役	100% (13/13回)	再 任 社外 独立
7	ほりみちこ 堀 美智子			新 任 社外 独立

1

すぎ うら ひろ かず
杉 浦 広 一

(1950年7月22日生)



再 任

所有する当社の株式数

967,000株

取締役在任年数

38年（本総会終結時）

取締役会出席状況

13回中13回（100%）

■略歴、当社における地位、担当

1976年12月 個人にてスギ薬局を創業

1982年 3月 当社設立と同時に代表取締役社長

2009年 5月 当社代表取締役会長（現任）

■重要な兼職の状況

株式会社スギ商事代表取締役社長

■取締役候補者とした理由

候補者は、当社代表取締役として、強い統率力と決断力により地域医療対応型ドラッグストアを運営する株式会社スギ薬局と訪問看護事業、居宅介護支援事業を行うスギメディカル株式会社を関東・中部・関西エリアを中心として展開するとともに、北陸エリアへの出店を開始し、当事業年度は過去最高の116店舗の新規出店を達成しました。候補者の経営実績、事業における幅広い知識、持続的な企業価値向上のためのリーダーシップは、当社グループの更なる発展拡大に必要不可欠であると判断し、引き続き選任をお願いするものであります。

**再 任**

所有する当社の株式数
152,000株

取締役在任年数
22年 (本總會終結時)

取締役会出席状況
13回中13回 (100%)

■ 略歴、当社における地位、担当

1986年 9月 当社入社

2008年 9月 株式会社スギ薬局常務取締役

2011年 3月 株式会社スギ薬局代表取締役社長

2017年 3月 株式会社スギ薬局代表取締役会長 (現任)

2017年 5月 当社代表取締役社長 (現任)

■ 重要な兼職の状況

株式会社スギ薬局代表取締役会長

■ 取締役候補者とした理由

候補者は、当社および株式会社スギ薬局の代表取締役として当社グループを牽引するとともに、ドラッグストア業界に精通した深い見識と経験により、縮小する商圈への対応や訪日外国人に向けた魅力ある売場展開等に積極的に取り組むなど、その職責を果たしております。候補者の経営実績、事業における幅広い知識、持続的な企業価値向上のためのリーダーシップは、当社グループの更なる発展拡大に大きく寄与するものと判断し、引き続き選任をお願いするものであります。

3

すぎ うら かつ のり
杉 浦 克 典

(1978年10月14日生)



再 任

所有する当社の株式数
1,892,000株

取締役在任年数
3年（本総会終結時）

取締役会出席状況
13回中13回（100%）

■略歴、当社における地位、担当

2006年 3月 当社入社

2011年 3月 株式会社スギ薬局常務取締役

2014年 3月 スギスマイル株式会社代表取締役社長（現任）

2017年 3月 株式会社スギ薬局代表取締役社長（現任）

2018年 3月 スギメディカル株式会社代表取締役副社長（現任）

2018年 5月 当社代表取締役副社長（現任）

■重要な兼職の状況

株式会社スギ薬局代表取締役社長

スギメディカル株式会社代表取締役副社長

スギスマイル株式会社代表取締役社長

■取締役候補者とした理由

候補者は、当社、株式会社スギ薬局およびスギメディカル株式会社の代表取締役として経営に携わり、超高齢社会に対応した事業領域の拡充を図るべく、お客様の健康維持・予防から介護・終末期のケアまでを一貫してサポートする「トータルヘルスケア戦略」の実現に向けた様々な施策に積極的に取り組むなど、その職責を果たしております。候補者の事業における知識、持続的な企業価値向上のためのリーダーシップは、当社グループの更なる発展拡大に大きく寄与するものと判断し、引き続き選任をお願いするものであります。

4

すぎ うら しん や
杉 浦 伸 哉

(1979年11月30日生)



再 任

所有する当社の株式数
1,892,000株

取締役在任年数
3年 (本総会終結時)

取締役会出席状況
13回中13回 (100%)

■ 略歴、当社における地位、担当

2004年 4月 当社入社
2010年 3月 株式会社スギ薬局取締役在宅医療営業部長
2011年 3月 スギメディカル株式会社取締役 (現任)
2017年 3月 株式会社スギ薬局常務取締役 (現任)
2017年 5月 当社取締役 (現任)

■ 重要な兼職の状況

株式会社スギ薬局常務取締役
スギメディカル株式会社取締役

■ 取締役候補者とした理由

候補者は、株式会社スギ薬局の常務取締役として営業部門を統括するとともに、医療事業領域における経験・知識により、調剤業務の生産性向上に向けた医療事務員の積極採用と研修教育の充実等に積極的に取り組むなど、その職責を果たしております。候補者が持つ知識・経験は、今後の当社グループの中核事業である医療事業の発展に大きく寄与するものと判断し、引き続き選任をお願いするものであります。

5

かみのしげゆき
神 野 重 行

(1947年5月23日生)



再 任

社 外

独 立

所有する当社の株式数
一株

取締役在任年数
5年（本総会終結時）

取締役会出席状況
13回中13回（100%）

■略歴、当社における地位、担当

1970年 4月 名古屋鉄道株式会社入社

2007年 5月 三重産業株式会社代表取締役（現任）

2008年 6月 名古屋鉄道株式会社代表取締役副社長

2009年 4月 株式会社名鉄百貨店代表取締役社長

2012年 5月 中部百貨店協会会長

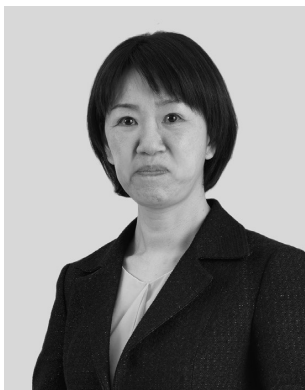
2015年 5月 当社取締役（現任）

■重要な兼職の状況

三重産業株式会社代表取締役

■社外取締役候補者とした理由

候補者は、長年にわたり、他企業において会社経営に携わり、経営に関する豊富な経験と知識を有しており、取締役会の審議において、積極的な発言・提言を行っております。候補者の企業経営に関する高い見識および監督能力に基づく大所高所からの適切な監督と助言は、当社グループの企業価値向上のために大きく寄与するものと判断し、引き続き選任をお願いするものであります。



再 任

社 外

独 立

所有する当社の株式数
一株

取締役在任年数
4年(本総会終結時)

取締役会出席状況
13回中13回(100%)

■略歴、当社における地位、担当

1983年 4月 株式会社富士銀行(現株式会社みずほ銀行) 入行
1994年 3月 公認会計士登録
2015年 1月 葉山良子公認会計士事務所代表(現任)
2016年 5月 当社取締役(現任)
2016年 8月 日本公認会計士協会専門研究員(現任)
2017年 6月 株式会社ココスジャパン社外取締役
2018年 5月 株式会社アダストリア社外監査役(現任)
2020年 3月 株式会社ダイナックホールディングス社外取締役
(監査等委員)(現任)

■重要な兼職の状況

葉山良子公認会計士事務所代表
日本公認会計士協会専門研究員
株式会社アダストリア社外監査役
株式会社ダイナックホールディングス社外取締役(監査等委員)

■社外取締役候補者とした理由

候補者は、公認会計士ならびに上場企業の社外取締役および社外監査役として培われた豊富な経験と知識を有しております。候補者には、経営管理に関する高い専門性と独立した立場からの適切な監督と助言を期待し、引き続き選任をお願いするものであります。なお、同氏は過去に社外役員となること以外の方法で会社の経営に関与した経験はありませんが、上記の理由により社外取締役としての職務を適切に遂行できるものと判断しております。

7

ほり み ち こ
堀 美 智 子

(1954年2月19日生)



新 任

社 外

独 立

所有する当社の株式数

一株

■ 略歴、当社における地位、担当

1977年 4月 名城大学薬学部医薬情報室勤務

1980年 2月 帝京大学薬学部医薬情報室勤務

1998年 4月 公益社団法人日本薬剤師会常務理事

1998年 5月 株式会社エス・アイ・シー取締役 (現任)

2002年 4月 一般社団法人日本臨床栄養協会理事 (現任)

2007年 9月 一般社団法人日本薬業研修センター医薬研究所
所長 (現任)

2015年 9月 一般社団法人日本女性薬局経営者の会会長 (現任)

■ 重要な兼職の状況

株式会社エス・アイ・シー取締役

一般社団法人日本臨床栄養協会理事

一般社団法人日本薬業研修センター医薬研究所所長

一般社団法人日本女性薬局経営者の会会長

■ 社外取締役候補者とした理由

候補者は、医薬情報の提供等を目的とする他企業において会社経営に携わるとともに、各種団体の理事等を務めるなど、経営に関する豊富な経験および医療分野における高い専門的知識を有しております。候補者の高い見識、専門性および監督能力は、当社グループの企業価値の向上のために大きく寄与するものと判断し、選任をお願いするものであります。

- (注) 1. 取締役候補者の杉浦広一氏と当社との間には、不動産賃貸借の取引関係があります。
2. その他の取締役候補者と当社との間には、特別の利害関係はありません。
3. 神野重行、葉山良子、堀美智子の3氏は、社外取締役候補者であります。なお、当社は、東京証券取引所および名古屋証券取引所に対して、神野重行、葉山良子の両氏を独立役員として届け出ており、原案どおり両氏が再任された場合、引き続き独立役員とする予定であります。また、堀美智子氏が原案どおり選任された場合、同氏を独立役員として届け出る予定であります。
4. 神野重行、葉山良子の両氏は、現在、当社の社外取締役であります。社外取締役としての在任期間は、本総会終結の時をもって神野重行氏が5年、葉山良子氏が4年となります。
5. 神野重行、葉山良子、堀美智子の3氏が社外取締役に選任された場合は、当社は、会社法第427条第1項の規定に基づき、3氏との間で、その職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がないときは、同法第423条第1項の損害賠償責任を金500万円以上であらかじめ定める金額または法令の定める最低限度額のいずれか高い額に限定する旨の契約を締結する予定であります。

第2号案
議案

監査役2名選任の件

監査役浅野薫夫、監査役坂本利彦の両氏は、本総会終結の時をもって任期満了となります。つきましては、監査役2名の選任をお願いするものであります。

なお、本議案につきましては、監査役会の同意を得ております。

監査役候補者は、次のとおりであります。

候補者 番号	氏 名	現在の当社における地位	当事業年度の 取締役会への 出席状況	当事業年度の 監査役会への 出席状況	候補者属性
1	さかもととしひこ 坂本利彦	常勤監査役	100% (13/13回)	100% (14/14回)	再任 社外 独立
2	かみやまこと 神谷誠	—	—	—	新任 社外 独立

1

さ か も と と し ひ こ
坂 本 利 彦

(1946年10月25日生)



再 任

社 外

独 立

所有する当社の株式数
100株

監査役在任年数
8年 (本總會終結時)

取締役会出席状況
13回中13回 (100%)

監査役会出席状況
14回中14回 (100%)

■ 略歴、当社における地位

2001年10月 伊藤忠商事株式会社名古屋支社財經総務部長

2006年 6月 シー・アンド・エス・サービス株式会社代表取締役社長

2009年 6月 伊藤忠製糖株式会社専務取締役人事総務・財務経理・
情報システム担当

2012年 5月 当社監査役

2017年 3月 株式会社スギ薬局監査役 (現任)

2017年 5月 当社常勤監査役 (現任)

■ 重要な兼職の状況

株式会社スギ薬局監査役

■ 社外監査役候補者とした理由

候補者は、他企業において会社経営に携わり、経営に関する豊富な経験と知識を有しております。また、2012年5月から当社の監査役に就任し、当社の事業内容にも精通しております。候補者の企業経営に関する高い見識および当社の経営全般に関する知見を活かして、客観的な立場から当社経営を厳格に監査いただけるものと判断し、引き続き選任をお願いするものであります。

2

かみ や まこと
神 谷 誠

(1964年1月7日生)



新 任

社 外

独 立

所有する当社の株式数

一 株

■略歴、当社における地位

1988年 8月 監査法人トーマツ（現有限責任監査法人トーマツ）入所
 1993年 3月 公認会計士登録
 2002年 5月 同監査法人社員
 2004年 4月 税理士登録
 税理士法人トーマツ（現デロイトトーマツ税理士法人）社員
 2005年10月 同税理士法人代表社員
 2007年 7月 同税理士法人名古屋事務所所長

■重要な兼職の状況

重要な兼職はありません。

■社外監査役候補者とした理由

候補者は、公認会計士および税理士として培われた専門的な知識と豊富な経験を有しております。候補者には、高い専門性と独立した立場から、社外監査役としての職務を適切に遂行していただけると判断し、社外監査役候補者となりました。なお、同氏は会社の経営に関与した経験はありませんが、上記の理由により社外監査役としての職務を適切に遂行できるものと判断しております。

- (注) 1. 各監査役候補者と当社との間には、特別の利害関係はありません。
 2. 坂本利彦、神谷誠の両氏は、社外監査役候補者であります。なお、当社は、東京証券取引所および名古屋証券取引所に対して、坂本利彦氏を独立役員として届け出ており、原案どおり同氏が再任された場合、引き続き独立役員とする予定であります。また、神谷誠氏が原案どおり選任された場合、同氏を独立役員として届け出る予定であります。
 3. 坂本利彦氏は、現在、当社の社外監査役であります。なお、社外監査役としての在任期間は、本総会終結の時をもって8年となります。
 4. 坂本利彦、神谷誠の両氏が社外監査役に選任された場合は、当社は、会社法第427条第1項の規定に基づき、両氏との間で、その職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がないときは、同法第423条第1項の損害賠償責任を金500万円以上であらかじめ定める金額または法令の定める最低限度額のいずれか高い額に限定する旨の契約を締結する予定であります。
 5. 坂本利彦氏が当社連結子会社の株式会社スギ薬局の監査役に在任中の2017年11月に、同社は、その販売する機能性表示食品の広告表示において、消費者庁から景品表示法違反（優良誤認）に基づく措置命令を受けました。同氏は、当該違反行為が判明するまでその事実を認識していませんでしたが、平素から業務執行の適正性を確保するための監査に努めており、当該事実確認後は原因究明および再発防止策等に関して助言、提言を行うなど、その職責を果たしております。

以 上

(提供書面)

事業報告 (2019年3月1日から2020年2月29日まで)

1 企業集団の現況

(1) 当事業年度の事業の状況

① 事業の経過および成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境が緩やかに改善したものの、世界経済の回復の弱さを受けて、横ばいで推移しました。一方、先行きにつきましては、10月の消費増税による個人消費の低迷や新型肺炎の全世界への拡大による経済活動の減速等が懸念され、依然として不透明な状況が続いております。

ドラッグストア業界におきましても、新型肺炎の拡大による一部商品の需要増加が見られたものの、消費増税後の消費マインドの低下や度重なる台風等の自然災害、競合他社との出店競争や業界の垣根を越えた販売競争の激化、人手不足による人件費および物流費の高騰等、当社グループを取り巻く経営環境の厳しさは継続しております。

このような環境の中、当社グループは、超高齢社会に対応した事業領域の拡充を図るべく、お客様の健康維持・予防から介護・終末期のケアまでを一貫してサポートする「トータルヘルスケア戦略」に即した取り組みを推進するとともに、積極的な出店による地域シェアの拡大および外需の取込みにも努めてまいりました。

具体的には、

- ・調剤事業の更なる拡大に向け、医療機関との関係強化および医療機関併設店舗の拡充
- ・創業来の強みである資格者によるカウンセリングを中心とした接客販売体制の強化
- ・付加価値型プライベートブランド商品の開発・販売
- ・デジタルを活用したサービス（スギサポ等）の開発および特定保健指導の提供体制拡充によるセルフケアの推進
- ・営業力強化および生産性向上を目的とした各種システムの開発・導入および人事制度の見直し等に取り組んでまいりました。

店舗の出退店等につきましては、ドミナントの更なる強化に向けた関東・中部・関西・北陸エリアへの出店を強化するとともに、小商圈への対応やインバウンド対応の売場展開等、既存店の活性化を目的とした改装にも注力いたしました。その結果として、116店舗の新規出店、51店舗の改装、20店舗の閉店を実施し、また、訪問看護ステーション1拠点の買収を行ったことにより、当連結会計年度末における店舗数は1,287店舗（前期末比97店舗増）となりました。

以上の結果、売上高は5,419億64百万円（前期比11.0%増、534億99百万円増）、売上総利益は1,621億82百万円（同14.0%増、198億81百万円増）、販売費及び一般管理費は1,324億20百万円（同13.7%増、159億36百万円増）、営業利益は297億62百万円（同15.3%増、39億44百万円増）、経常利益は314億73百万円（同15.6%増、42億35百万円増）、これに伴い、親会社株主に帰属する当期純利益は207億82百万円（同15.8%増、28億42百万円増）となりました。

なお、当事業年度の期末配当金につきましては、1株当たり40円とし、支払開始日を2020年5月21日とすることを2020年4月7日開催の取締役会において決議しております。2019年11月に1株当たり40円の中間配当金をお支払いいたしましたので、年間配当金は1株当たり80円となります。

② 設備投資の状況

当連結会計年度において、当社グループが実施いたしました設備投資総額は、203億87百万円であり、その主なものは、新規出店116店舗に関するものが167億32百万円、システム関連投資が8億99百万円であります。

③ 資金調達の状況

該当事項はありません。

④ 事業の譲渡、吸収分割または新設分割の状況

該当事項はありません。

⑤ 他の会社の事業の譲受けの状況

該当事項はありません。

⑥ 吸収合併または吸収分割による他の法人等の事業に関する権利義務の承継の状況

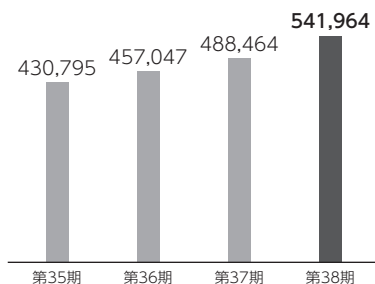
該当事項はありません。

⑦ 他の会社の株式その他の持分または新株予約権等の取得または処分の状況

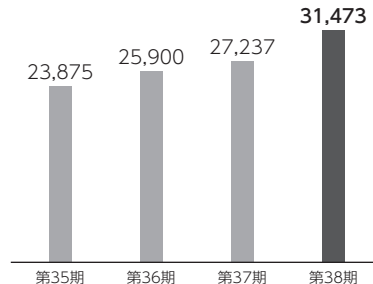
該当事項はありません。

(2) 直前3事業年度の財産および損益の状況

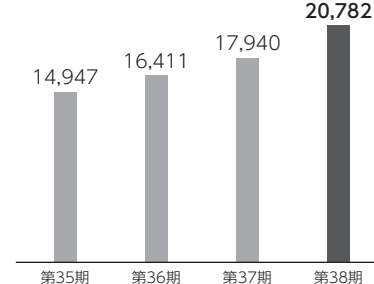
■ 売上高 (単位：百万円)



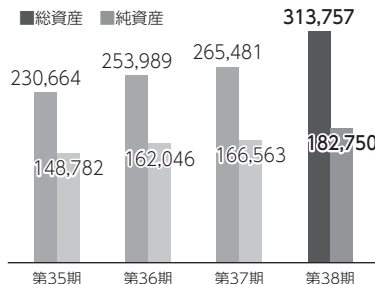
■ 経常利益 (単位：百万円)



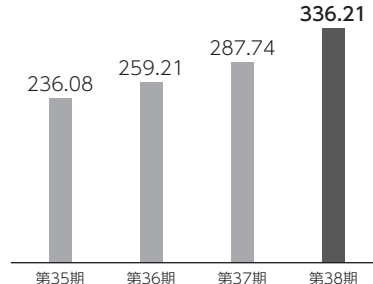
■ 親会社株主に帰属する当期純利益 (単位：百万円)



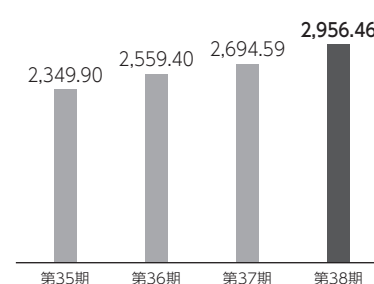
■ 総資産/純資産 (単位：百万円)



■ 1株当たり当期純利益 (単位：円)



■ 1株当たり純資産額 (単位：円)



区分		第35期 2017年2月期	第36期 2018年2月期	第37期 2019年2月期	第38期 2020年2月期 (当連結会計年度)
売上高	(百万円)	430,795	457,047	488,464	541,964
経常利益	(百万円)	23,875	25,900	27,237	31,473
親会社株主に帰属する当期純利益	(百万円)	14,947	16,411	17,940	20,782
1株当たり当期純利益	(円)	236.08	259.21	287.74	336.21
総資産	(百万円)	230,664	253,989	265,481	313,757
純資産	(百万円)	148,782	162,046	166,563	182,750
1株当たり純資産額	(円)	2,349.90	2,559.40	2,694.59	2,956.46

(注) 1株当たり当期純利益は、期中平均の発行済株式の総数により、1株当たり純資産額は、期末日現在の発行済株式の総数により算出しております。なお、1株当たり当期純利益および1株当たり純資産額の算出に際して、期中の発行済株式の総数および期末日現在の発行済株式の総数から自己株式数を控除しております。

(3) 重要な親会社および子会社の状況

① 親会社の状況

該当事項はありません。

② 重要な子会社の状況

名称	資本金	議決権比率	主な事業内容
株式会社スギ薬局	50百万円	100.00%	ドラッグ・調剤事業
スギメディカル株式会社	50百万円	100.00%	訪問看護事業

(4) 対処すべき課題

経営環境につきましては、新型コロナウイルスの拡大が長期化することによる世界全体の経済減速の恐れが強く懸念され、わが国経済も不透明な状況が継続しており、先行きが見通せない状況となっております。

また、ドラッグストア業界を取り巻く環境も、業界内の競争がより厳しさを増すことや診療報酬改定に伴う診療報酬および薬価等の引下げが実施されることから、依然として予断を許さない状況が続くと思われます。

このような状況下、当社グループは、超高齢社会に対応した事業領域の拡充を図るべく、お客様の健康維持・予防から介護・終末期のケアまでを一貫してサポートする「トータルヘルスケア戦略」に即した取組みを推進するとともに、積極的な出店による地域シェアの拡大および外需の取込みにも努めてまいります。

(5) 主要な事業内容（2020年2月29日現在）

当社グループにおいては、医薬品・健康食品・化粧品・日用品を販売するとともに、処方せん調剤や地域の医療関係者と連携した在宅医療に取り組む『地域医療対応型ドラッグストア』、日用雑貨・食品を中心として医薬品・健康食品・化粧品等を販売する『ディスカウント型ドラッグストア』の経営のほか、終末期医療を含めた専門性の高い訪問看護サービスや、利用者様に適したケアプランサービスを提供しております。

(6) 主要な営業所（2020年2月29日現在）

当社	愛知県大府市横根町新江62番地の1
株式会社スギ薬局	愛知県大府市横根町新江62番地の1
スギメディカル株式会社	東京都千代田区鍛冶町二丁目6番1号

営業拠点

	スギ薬局		ジャパン	スギ訪問看護 ステーション	合計
		在宅医療 実施店舗			
茨 城 県	2	－	－	－	2
栃 木 県	4	－	－	－	4
群 馬 県	34	2	－	－	34
埼 玉 県	107	31	－	－	107
千 葉 県	15	7	－	1	16
東 京 都	137	59	－	1	138
神 奈 川 県	41	16	－	2	43
関 東 小 計	340	115	－	4	344
岐 阜 県	57	18	－	－	57
静 岡 県	25	5	－	－	25
愛 知 県	341	173	－	1	342
三 重 県	55	25	－	－	55
中 部 小 計	478	221	－	1	479
福 井 県	8	－	－	－	8
石 川 県	5	－	－	－	5
北 陸 小 計	13	－	－	－	13
滋 賀 県	39	20	6	－	45
京 都 府	36	20	13	－	49
大 阪 府	175	68	55	6	236
兵 庫 県	65	36	33	－	98
奈 良 県	17	7	6	－	23
関 西 小 計	332	151	113	6	451
総 拠 点 数	1,163	487	113	11	1,287

- (注) 1. 在宅医療実施店舗の数は、スギ薬局の店舗数の内数であります。
2. スギ訪問看護ステーションには、スギメディカル株式会社の子会社である株式会社HMAの訪問看護ステーション1拠点を含んでおります。

連 結 会 計 年 度 内 新 設 拠 点 数	117
連 結 会 計 年 度 内 閉 鎖 拠 点 数	20
連 結 会 計 年 度 内 純 増 拠 点 数	97

(7) 使用人の状況 (2020年2月29日現在)

使用人数	前連結会計年度末比増減
6,182 (10,282) 名	+688 (+1,524) 名

(注) 使用人数は就業員数であり、パートおよび嘱託社員は () 内に年間の平均人員を外数で記載しております。

(8) 主要な借入先の状況 (2020年2月29日現在)

該当事項はありません。

(9) その他企業集団の現況に関する重要な事項

該当事項はありません。

2 会社の現況

(1) 株式の状況（2020年2月29日現在）

- ① 発行可能株式総数 200,000,000株
- ② 発行済株式の総数 63,330,838株
- ③ 株主数 30,212名
- ④ 大株主（上位10名）

株主名	持株数	持株比率
株式会社スギ商事	20,605千株	33.33%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	2,357	3.81
杉 浦 克 典	1,892	3.06
杉 浦 伸 哉	1,892	3.06
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140051	1,346	2.17
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140042	1,299	2.10
株式会社ツルハ	1,272	2.05
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	1,187	1.92
STATE STREET LONDON CARE OF STATE STREET BANK AND TRUST, BOSTON SSBTC A/C UK LONDON BRANCH CLIENTS- UNITED KINGDOM	1,163	1.88
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	1,153	1.86

(注) 1. 当社は、自己株式を1,516,887株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

(2) 新株予約権等の状況

該当事項はありません。

(3) 会社役員の状況

① 取締役および監査役の状況（2020年2月29日現在）

会社における地位	氏名	担当および重要な兼職の状況
代表取締役会長	杉浦 広一	株式会社スギ商事代表取締役社長
代表取締役社長	榊原 栄一	株式会社スギ薬局代表取締役会長
代表取締役副社長	杉浦 克典	株式会社スギ薬局代表取締役社長 スギメディカル株式会社代表取締役副社長 スギスマイル株式会社代表取締役社長
取締役	杉浦 伸哉	株式会社スギ薬局常務取締役 スギメディカル株式会社取締役
取締役	神野 重行	三重産業株式会社代表取締役
取締役	葉山 良子	葉山良子公認会計士事務所代表 日本公認会計士協会専門研究員 株式会社アグストリア社外監査役 株式会社ダイナックホールディングス社外取締役（監査等委員）
常勤監査役	坂本 利彦	株式会社スギ薬局監査役
監査役	浅野 薫夫	
監査役	安田 加奈	安田会計事務所所長 株式会社ゲオホールディングス社外取締役 シンポ株式会社社外監査役 中央発條株式会社社外取締役 コンドーテック株式会社社外監査役

- (注) 1. 取締役神野重行、取締役葉山良子の両氏は、社外取締役であります。なお、当社は、東京証券取引所および名古屋証券取引所に対して、両氏を独立役員として届け出ております。
2. 常勤監査役坂本利彦、監査役浅野薫夫、監査役安田加奈の3氏は、社外監査役であります。なお、当社は、東京証券取引所および名古屋証券取引所に対して、同3氏を独立役員として届け出ております。
3. 常勤監査役坂本利彦、監査役浅野薫夫、監査役安田加奈の3氏は、次のとおり財務および会計に関する相当程度の知見を有しております。
- ・常勤監査役坂本利彦氏は、伊藤忠製糖株式会社において、取締役財務経理担当として決算手続きおよび財務諸表作成等に從事した経験を有しております。
 - ・監査役浅野薫夫氏は、豊田合成株式会社において、取締役経理部長として決算手続きおよび財務諸表作成等に從事した経験を有しております。
 - ・監査役安田加奈氏は、公認会計士および税理士の資格を有しております。

② 事業年度中に退任した取締役

氏名	退任日	退任理由	退任時の地位・担当および重要な兼職の状況
松 村 啓 史	2019年11月11日	逝去	社外取締役

③ 取締役および監査役の報酬等

イ. 当事業年度に係る報酬等の総額

区分	員数	基本報酬	賞与	総額
取 締 役 (うち社外取締役)	5名 (3)	109百万円 (14)	41百万円 (-)	151百万円 (14)
監 査 役 (うち社外監査役)	3 (3)	21 (21)	- (-)	21 (21)
合 計 (うち社外役員)	8 (6)	130 (35)	41 (-)	172 (35)

- (注) 1. 取締役の報酬等の総額には、使用人兼務取締役の使用人分給与は含まれておりません。
2. 取締役の報酬額は、2007年5月24日開催の第25回定時株主総会において、年額400百万円以内（ただし、使用人分給与は含まない。）と決議いただいております。
3. 監査役の報酬額は、2007年5月24日開催の第25回定時株主総会において、年額30百万円以内と決議いただいております。

- ロ. 社外役員が親会社および子会社等から受けた役員報酬等の総額
該当事項はありません。

④ 社外役員に関する事項

イ. 他の法人等の重要な兼職の状況および当社と当該他の法人等との関係

- ・取締役神野重行氏は、三重産業株式会社の代表取締役であります。当社と兼職先との間には特別の関係はありません。
- ・取締役葉山良子氏は、葉山良子公認会計士事務所の代表、日本公認会計士協会の専門研究員、株式会社アダストリアの社外監査役、株式会社ダイナックホールディングスの社外取締役（監査等委員）であります。当社と兼職先との間には特別の関係はありません。
- ・常勤監査役坂本利彦氏は、株式会社スギ薬局の監査役であります。当社は、兼職先の議決権を100%保有しており、当社と兼職先との間には店舗設備の賃貸、業務委託および資金の借入等の取引関係がありますが、当社と同社との間に社外役員の独立性に影響を及ぼす事項はありません。
- ・監査役安田加奈氏は、安田会計事務所の所長、株式会社ゲオホールディングスの社外取締役、シンボ株式会社の社外監査役、中央発條株式会社の社外取締役、コンドーテック株式会社の社外監査役であります。当社と株式会社ゲオホールディングスとの間には不動産賃貸借の取引関係がありますが、当社と同社との間に社外役員の独立性に影響を及ぼす事項はありません。また、当社とその他の兼職先との間には特別の関係はありません。

ロ. 当事業年度における主な活動状況

区分	氏名	活動状況
取 締 役	神 野 重 行	当事業年度に開催された取締役会13回のうち13回に出席し、流通業界における他社代表取締役および業界団体役員等の経験を活かした業務執行全般にわたる発言を行っております。
取 締 役	葉 山 良 子	当事業年度に開催された取締役会13回のうち13回に出席し、主に公認会計士の経験および知見に基づく会計分野の専門的見地から、適宜必要な発言を行っております。
取 締 役	松 村 啓 史	当事業年度において、2019年11月11日に逝去により退任するまでに開催された取締役会7回のうち5回に出席し、医療・看護業界における他社代表取締役の経験と専門的見地から、適宜必要な発言を行っておりました。
常 勤 監 査 役	坂 本 利 彦	当事業年度に開催された取締役会13回のうち13回、監査役会14回のうち14回に出席し、他社での代表取締役の経験を活かした業務執行全般にわたる発言を行っております。
監 査 役	浅 野 薫 夫	当事業年度に開催された取締役会13回のうち13回、監査役会14回のうち14回に出席し、他社での代表取締役および監査役の経験を活かした業務執行全般にわたる発言を行っております。
監 査 役	安 田 加 奈	当事業年度に開催された取締役会13回のうち13回、監査役会14回のうち14回に出席し、主に公認会計士および税理士の経験および知見に基づく会計・税務分野の専門的見地から、適宜必要な発言を行っております。

- ハ、責任限定契約の内容の概要
該当事項はありません。

(4) 会計監査人の状況

- ① 名称 有限責任監査法人トーマツ

② 報酬等の額

	支払額
当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額	28百万円
当社および連結子会社が会計監査人に支払うべき金銭その他の財産上の利益の合計額	47

- (注) 1. 当社の連結子会社である株式会社スギ薬局につきましても有限責任監査法人トーマツが会計監査人となっております。
2. 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬等の額を区分しておらず、実質的にも区分できませんので、当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額には、これらの合計額を記載しております。
3. 監査役会は、会計監査人から説明を受けた当事業年度の会計監査計画の監査人数や人員配置などの内容、前年度の監査実績の検証と評価、会計監査人の監査の遂行状況の相当性、報酬の前提となる見積の算出根拠を精査した結果、会計監査人の報酬等の額について同意いたしました。

③ 会計監査人の解任または不再任の決定の方針

監査役会は、会計監査人の監査能力、信用力および監査報酬等を、別途定める「会計監査人の選定要領」、
「会計監査人の評価実施要領」を利用して総合的に勘案し、会計監査人の職務の執行に支障がある場合など、
その必要があると判断した場合は、株主総会に提出する会計監査人の解任または不再任に関する議案を決定
し、取締役会は、当該決定に基づき当該議案を株主総会の会議の目的とすることといたします。

また、監査役会は、会計監査人が会社法第340条第1項各号に定める項目に該当すると認められる事態が
生じ、かつ改善の見込みがないと判断した場合は、監査役全員の同意に基づき、会計監査人を解任いたしま
す。この場合、監査役会が選定した監査役は、解任後最初に招集される株主総会において、会計監査人を解
任した旨およびその理由を報告いたします。

④ 責任限定契約の内容の概要

該当事項はありません。

連結計算書類

連結貸借対照表 (2020年2月29日現在)

(単位：百万円)

科目	金額
資産の部	
流動資産	196,883
現金及び預金	81,347
売掛金	28,211
有価証券	10,000
商品	63,668
その他	13,669
貸倒引当金	△13
固定資産	116,874
有形固定資産	74,276
建物及び構築物	51,994
土地	7,858
建設仮勘定	4,822
その他	9,601
無形固定資産	3,542
投資その他の資産	39,054
投資有価証券	3,342
長期貸付金	4
繰延税金資産	8,603
差入保証金	22,861
その他	4,265
貸倒引当金	△23
資産合計	313,757

科目	金額
負債の部	
流動負債	115,779
買掛金	82,479
未払法人税等	5,220
賞与引当金	1,955
その他	26,123
固定負債	15,228
退職給付に係る負債	6,379
資産除去債務	5,517
その他	3,330
負債合計	131,007
純資産の部	
株主資本	182,577
資本金	15,434
資本剰余金	24,632
利益剰余金	151,807
自己株式	△9,297
その他の包括利益累計額	172
その他有価証券評価差額金	317
退職給付に係る調整累計額	△144
純資産合計	182,750
負債純資産合計	313,757

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書 (2019年3月1日から2020年2月29日まで)

(単位：百万円)

科目	金額	
売上高		541,964
売上原価		379,782
売上総利益		162,182
販売費及び一般管理費		132,420
営業利益		29,762
営業外収益		
受取利息及び配当金	100	
固定資産受贈益	595	
受取賃貸料	1,660	
受取手数料	566	
その他	381	3,304
営業外費用		
支払利息	22	
賃貸収入原価	1,142	
固定資産除却損	249	
その他	178	1,592
経常利益		31,473
特別損失		
減損損失	1,546	1,546
税金等調整前当期純利益		29,926
法人税、住民税及び事業税	10,496	
法人税等調整額	△1,352	9,144
当期純利益		20,782
親会社株主に帰属する当期純利益		20,782

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書 (2019年3月1日から2020年2月29日まで)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当連結会計年度期首残高	15,434	24,632	135,661	△9,296	166,431
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△4,636		△4,636
親会社株主に帰属する当期純利益			20,782		20,782
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					
連結会計年度中の変動額合計	—	—	16,146	△0	16,145
当連結会計年度末残高	15,434	24,632	151,807	△9,297	182,577

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当連結会計年度期首残高	251	△119	131	166,563
連結会計年度中の変動額				
剰余金の配当				△4,636
親会社株主に帰属する当期純利益				20,782
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	66	△25	41	41
連結会計年度中の変動額合計	66	△25	41	16,187
当連結会計年度末残高	317	△144	172	182,750

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

計算書類

貸借対照表 (2020年2月29日現在)

科目	金額
資産の部	
流動資産	151,021
現金及び預金	63,136
売掛金	1,147
有価証券	10,000
前払費用	2,636
関係会社短期貸付金	191
未収入金	73,920
その他	1
貸倒引当金	△13
固定資産	108,932
有形固定資産	71,050
建物	52,479
構築物	4,155
土地	8,072
建設仮勘定	4,822
その他	1,520
無形固定資産	3,418
投資その他の資産	34,463
投資有価証券	2,944
関係会社株式	2,560
関係会社長期貸付金	839
長期前払費用	1,237
繰延税金資産	2,310
差入保証金	22,616
その他	2,457
貸倒引当金	△503
資産合計	259,954

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：百万円)

科目	金額
負債の部	
流動負債	87,821
関係会社短期借入金	12,045
未払金	71,690
未払法人税等	3,481
賞与引当金	2
その他	602
固定負債	8,628
資産除去債務	5,513
その他	3,114
負債合計	96,450
純資産の部	
株主資本	163,186
資本金	15,434
資本剰余金	24,632
資本準備金	24,632
利益剰余金	132,418
利益準備金	90
その他利益剰余金	132,327
別途積立金	73,540
繰越利益剰余金	58,787
自己株式	△9,298
評価・換算差額等	317
その他有価証券評価差額金	317
純資産合計	163,504
負債純資産合計	259,954

招集ご通知

株主総会参考書類

事業報告

連結計算書類

計算書類

監査報告書

損益計算書 (2019年3月1日から2020年2月29日まで)

(単位：百万円)

科目	金額	
売上高		
関係会社賃貸収入		33,440
営業収益		
経営管理料	10,824	
関係会社受取配当金	7,007	
その他	24	17,855
売上高・営業収益合計		51,296
売上原価		
関係会社賃貸原価		30,972
売上総利益		2,468
販売費及び一般管理費		3,402
営業利益		16,920
営業外収益		
受取利息及び配当金	96	
受取賃貸料	1,660	
その他	178	1,935
営業外費用		
支払利息	26	
賃貸収入原価	1,145	
その他	306	1,478
経常利益		17,378
特別損失		
減損損失	490	490
税引前当期純利益		16,887
法人税、住民税及び事業税	3,532	
法人税等調整額	△479	3,053
当期純利益		13,834

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書 (2019年3月1日から2020年2月29日まで)

(単位：百万円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				自己株式	株主資本 合計
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計		
					別途 積立金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	15,434	24,632	24,632	90	68,540	54,589	123,220	△9,298	153,989
事業年度中の変動額									
別途積立金の積立					5,000	△5,000	－		－
剰余金の配当						△4,636	△4,636		△4,636
当期純利益						13,834	13,834		13,834
自己株式の取得								△0	△0
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額（純額）									
事業年度中の変動額合計	－	－	－	－	5,000	4,198	9,198	△0	9,197
当期末残高	15,434	24,632	24,632	90	73,540	58,787	132,418	△9,298	163,186

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	251	251	154,240
事業年度中の変動額			
別途積立金の積立			—
剰余金の配当			△4,636
当期純利益			13,834
自己株式の取得			△0
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)	66	66	66
事業年度中の変動額合計	66	66	9,263
当期末残高	317	317	163,504

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

監査報告書

連結計算書類に係る会計監査報告

独立監査人の監査報告書

2020年4月13日

スギホールディングス株式会社
取締役会 御 中

有限責任監査法人トーマツ	
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士 三 浦 宏 和 ㊞
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士 藤 井 淳 一 ㊞

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、スギホールディングス株式会社の2019年3月1日から2020年2月29日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

連結計算書類に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結計算書類に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、連結計算書類の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による連結計算書類の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、連結計算書類の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての連結計算書類の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、スギホールディングス株式会社及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 本ご通知の提供書面に記載の連結計算書類は、会計監査人が会計監査報告を作成するに際して監査をしたものの一部であります。なお、連結注記表につきましては、法令および当社定款第18条の規定に基づき、本ご通知への記載に代えて、インターネット上の当社ウェブサイト(<https://www.sugi-hd.co.jp/>)に掲載しております。

計算書類に係る会計監査報告

独立監査人の監査報告書

2020年4月13日

スギホールディングス株式会社
取締役会 御 中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士 三 浦 宏 和 ㊞
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士 藤 井 淳 一 ㊞

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、スギホールディングス株式会社の2019年3月1日から2020年2月29日まで
の第38期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書について
監査を行った。

計算書類等に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示するために経営
者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から計算書類及びその附属明細書に対する意見を表明すること
にある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計
算書類及びその附属明細書に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を
実施することを求めている。

監査においては、計算書類及びその附属明細書の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監
査法人の判断により、不正又は誤謬による計算書類及びその附属明細書の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。
監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた
適切な監査手続を立案するために、計算書類及びその附属明細書の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経
営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及びその附属明細書の
表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計
算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 本ご通知の提供書面に記載の計算書類は、会計監査人が会計監査報告を作成するに際して監査をしたものの一部であります。なお、個別注
記表につきましては、法令および当社定款第18条の規定に基づき、本ご通知への記載に代えて、インターネット上の当社ウェブサイト
(<https://www.sugi-hd.co.jp/>)に掲載しております。

監査役会の監査報告

監 査 報 告 書

当監査役会は、2019年3月1日から2020年2月29日までの第38期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

- (1) 監査役会は、当期の監査方針、職務分担、監査計画等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。
- (2) 各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、当期の監査方針、職務分担、監査計画等に従い、取締役、監査室その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、以下の方法で監査を実施しました。
 - ① 取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。また、子会社については、子会社の取締役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。
 - ② 事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社及びその子会社から成る企業集団の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、監査役会が定めた内部統制システムに係る監査役監査の実施基準に準拠し、当社及び子会社の取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。
 - ③ 会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は相当であると認めます。

(3) 連結計算書類の監査結果

会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は相当であると認めます。

2020年4月13日

スギホールディングス株式会社 監査役会
常勤社外監査役 坂 本 利 彦 ㊟
社 外 監 査 役 浅 野 薫 夫 ㊟
社 外 監 査 役 安 田 加 奈 ㊟

(注) 本ご通知の提供書面に記載の事業報告、連結計算書類および計算書類は、監査役会が監査報告を作成するに際して監査をしたものの一部であります。なお、事業報告の「会社の体制および方針」ならびに連結注記表および個別注記表につきましては、法令および当社定款第18条の規定に基づき、本ご通知への記載に代えて、インターネット上の当社ウェブサイト（<https://www.sugi-hd.co.jp/>）に掲載しております。

以 上

株主総会会場ご案内図

会場

愛知県刈谷市若松町二丁目104番地
刈谷市総合文化センターアイリス 大ホール



交通

J R 東海道本線・名鉄三河線「刈谷」駅下車（南口より連絡デッキ直結徒歩 3 分）

※駐車場には限りがございます。

新型コロナウイルスの感染が拡大しています。感染拡大防止のため、事前に書面（郵送）又はインターネットにより議決権をご行使いただき、当日のご来場を見合わせていただくことも含めご検討くださいますようお願い申し上げます。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

